(19)日本国特許庁(JP)　(12)登録実用新案公報(U)　(11)実用新案登録番号
実用新案登録第3102018号
(U3102018)
(45)発行日　平成16年6月24日(2004.6.24)　(24)登録日　平成16年3月17日(2004.3.17)

(51)Int.Cl.[7]　F I
A43B 17/00　A43B 17/00 Z

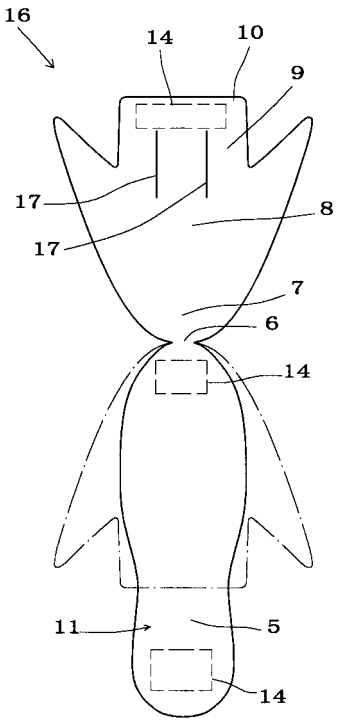
評価書の請求 未請求　請求項の数 6　OL　(全 10 頁)

(21)出願番号　実願2003-272828(U2003-272828)
(22)出願日　平成15年12月2日(2003.12.2)

(73)実用新案権者　503256586
須原　照子
奈良県奈良市白毫寺町１９－１６
(73)実用新案権者　503441816
三浦　拓郎
東京都多摩市聖ヶ丘１－６－１２
(74)代理人　100078709
弁理士　浅賀　一樹
(72)考案者　須原　照子
奈良県奈良市白毫寺町１９－１６
(72)考案者　三浦　拓郎
東京都多摩市聖ヶ丘１－６－１２

(54)【考案の名称】スリッパ用使い捨て中敷

(57)【要約】　(修正有)
【課題】公共施設等において備え付けのスリッパを利用する際に用いるものであって、他人の足との間接接触を回避しうるようにすること、履用を容易にすること、構造を簡単にすること、提供を安価すること、スリッパへの着脱を容易にすることを目的とする。
【解決手段】スリッパの足載部上面を覆う足載面被覆部５と、前記足載面被覆部５の爪先に折曲可能部６を介して連設された爪先被覆部７と、前記爪先被覆部７に連設された甲被覆部８と、前記甲被覆部８の開口縁に折曲可能部９を介して連設された折返し部１０とから構成され、前記足載面被覆部５の後部寄り個所の裏面、爪先寄り個所の裏面及び折返し部１０の裏面に、貼って剥がせる弱粘着タイプの糊を塗布した接着部分１４が設けられ、前記甲被覆部８と前記折返し部１０の間に存する折曲可能部９に複数本の破れ防止用切れ目１７が設けられたことを特徴とする。
【選択図】図７



【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
スリッパの足載面を覆う足載面被覆部と、前記足載面被覆部の爪先に折曲可能部を介して連設された爪先被覆部と、前記爪先被覆部に連設された甲被覆部と、前記甲被覆部の開口縁に折曲可能部を介して連設された折返し部を備えたことを特徴とするスリッパ用使い捨て中敷。
【請求項２】
継ぎ目が無い構成にされたことを特徴とする請求項１記載のスリッパ用使い捨て中敷。
【請求項３】
吸湿性が高い素材と引裂き強度が強い素材との複合素材により構成されたことを特徴とする請求項１又は２記載のスリッパ用使い捨て中敷。
【請求項４】
前記足載面被覆部の後部寄り個所及び折返し部の裏面に、弱粘着剤を塗布した接着部分を備えたことを特徴とする請求項１、２又は３記載のスリッパ用使い捨て中敷。
【請求項５】
前記甲被覆部と前記折返し部の間に存する折曲可能部に破れ防止用切れ目を入れたことを特徴とする請求項１、２、３又は４記載のスリッパ用使い捨て中敷。
【請求項６】
前記甲被覆部の左右両側縁に折曲可能部を介して挟止部が連設されたことを特徴とする請求項１、２，３、４又は５記載のスリッパ用使い捨て中敷。
【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本考案は、不特定多数の人が使用するスリッパの内面に直接足が接触することから生じるていた不快感や不衛生さ等を解消するスリッパ用使い捨て中敷に関する。
【０００２】
なお、本文中、「スリッパ」は、狭義のスリッパに限られるものではなく、サンダルや草履など呼称の如何を問わず、足に引っ掛けて用いる履物を広く含む概念である。
【背景技術】
【０００３】
スリッパ事情（１）
ａ）高級ホテルや航空機のビジネスクラス以上のサービスでは、スリッパを使い捨てにしているが、通常の旅館やホテルではスリッパの使い回しをしている。
ｂ）大病院では外履のままで病室に入れるようになっているが、開業医（歯科医も含め）のほとんどは、玄関で靴を脱いでスリッパに履き替えるようになっている。
ｃ）スリッパの滅菌器を備え付けている施設もあるが、滅菌効果には疑念があることは公知の事実で、ほとんどの滅菌器は子供の遊び道具になっている場合が多い。
ｄ）学校や体育館、公民館等の不特定多数が集散する場所では、他人が使用したスリッパを使用することに何んかしらの恐怖心があるためなのか、爪先立ったままの状態で使用しているご婦人の姿も見受けられる。
ｅ）一般の家庭においては、来客者用のスリッパが重ねられてスリッパラックに保管されているが、スリッパに残る前の使用者の体温を感じることは必ずしも心地よいものではない。
【０００４】
要するに、スリッパ事情（１）には、ホテルや旅館などの宿泊施設、病院や公民館などの公共施設において、履物を脱いで備え付けのスリッパに履き替える場合、この種のスリッパは、不特定多数人が既に何度も利用したものであり、これを履くことは他人の足と間接的に接触することとなるため、心理的な抵抗感あるいは嫌悪感を覚えるばかりでなく、水虫や他の黴菌が感染する危険性があるなど、衛生面に問題があった。
【０００５】

スリッパ事情（２）

イ）旅館やホテルの集客が少なくなり、日常経費を省く努力も限界に達してきているという大不況の現下において客をもてなすためには、少ない予算で費用対効果を確保できるものを提供する。

ロ）スリッパの甲の外側に露呈する部位に企業名や商品名、企業宣伝の文言を表示することで低廉化若しくは無料化できるものを提供する。

ハ）スリッパの甲の外側に露呈する部位にルーム番号や客室使用者の指名を表記し、宿泊者にインパクトを与える小道具として使用できるものを提供する。

ニ）その地方の情報提供手段に利用して地方を活性化できるものを提供する。

ホ）粗品や投げ込みカタログと併用するアプローチ用品にしたり、あるいはティシュペーパの代替品にしたりできるものを提供する。

【０００６】

要するに、スリッパ事情（２）は、提供者側、使用者側の両者にとって有利に作用するものを提供できるようにするという要望に充分に応えられていないのが現状である。

【０００７】

前記のようなスリッパ事情（１）（２）に鑑み、次のようなスリッパ用中敷が従前提供されている。

【０００８】

（従来例１）甲被の部分が左右の翼片部分に分割された使い捨てタイプのスリッパ用中敷（特許文献１参照）。

【０００９】

（従来例２）スリッパの甲被覆部に挿入して当該甲被覆部の内面に添接する甲被カバー部と、スリッパの底部上面を覆う足載面被覆部とを備えてスリッパ形状を呈し、甲被カバー部の開口端部にスリッパの甲被覆部の開口部上面を覆う折り返し部を備え、足載面被覆部の後部下面にスリッパの踵部を保持する袋状の踵部保持部を備えたスリッパ用中敷（特許文献２参照）。

【００１０】

しかしながら、前記従来例１は、前記スリッパ事情（１）（２）に充分とは言えないまでも少なからず対応できているという利点を有しているが、スリッパの甲被覆部の内面に位置する翼片部分の保形性が乏しく、前記翼片部分がスリッパの甲被覆部内に挿入されたときに当該翼片部分の自由端部が垂れ下がり、着用の都度、翼片部分の自由端部を指で持ち上げなければならない。その上、スリッパの底部上面を覆う足載面被覆部の後部が単にスリッパの上に重ねられた状態であるため、歩行時に装着者の足の踵に付着してスリッパから持ち上げられ、またスリッパを脱ぐときには、装着者の足と共にしばしば抜け出るという不都合を有している。

【００１１】

また、前記従来例２は、前記従来例１と多少の差異があるにしても同様に、前記スリッパ事情（１）（２）に対応できているという利点を有しているが、スリッパの甲被覆部の開口部上面を覆う捲り返し部が甲被カバー部の開口端部に備えられ、スリッパの踵部を保持する袋状の踵部保持部が足載面被覆部の後部下面に設けられているものであって構造が複雑であり、より安価に提供するには不向きである。その上、袋状の踵部保持部を装着又は外す操作のときには、操作者の手指がスリッパの汚れている底面に触れ易い若しくは触れなければならない等の好ましくない欠点を有し、さらに、装着された袋状踵部保持部の一部がスリッパの下面に存して歩行の邪魔になることがある等の不都合を有している。

【００１２】

【特許文献１】実開平７－２３４０９号公報　　特開平１０－２７６８０２号公報

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【００１３】

本考案は、前記のような諸不都合点を解消するために案出したものである。

【００１４】

すなわち、本考案は、公共施設等において備え付けのスリッパを利用する際に、他人の足との間接接触を回避しうるようにすることを目的とする。

【００１５】

さらに、履用を容易にすること、構造を簡単にすること、提供を安価すること、スリッパへの着脱を容易にすること等を目的とする。

【課題を解決するための手段】

【００１６】

上記目的を達成するために、請求項１に係るスリッパ用使い捨て中敷にあっては、スリッパの足載面を覆う足載面被覆部と、前記足載面被覆部の爪先に折曲可能部を介して連設された爪先被覆部と、前記爪先被覆部に連設された甲被覆部と、前記甲被覆部の開口縁に折曲可能部を介して連設された折返し部から構成されていることを特徴とする。

【００１７】

請求項２に係るスリッパ用使い捨て中敷にあっては、全体が、継ぎ目無しの構成にされたことを特徴とする。

【００１８】

請求項３に係るスリッパ用使い捨て中敷にあっては、全体が、吸湿性の高い素材と引裂き強度が強い素材との複合素材により構成されたことを特徴とする。

【００１９】

請求項４に係るスリッパ用使い捨て中敷にあっては、前記足載面被覆部の後部寄り個所及び折返し部の裏面に、貼って剥がせる弱粘着剤を塗布した接着部分を備えたことを特徴とする。

【００２０】

請求項５に係るスリッパ用使い捨て中敷にあっては、前記甲被覆部と前記折返し部の間に存する折曲可能部に破れ防止用切れ目を入れたことを特徴とする。

【００２１】

請求項６に係るスリッパ用使い捨て中敷にあっては、前記甲被覆部の左右両側縁に折曲可能部を介して挟止部が連設されたことを特徴とする。

【考案の効果】

【００２２】

請求項１に係るスリッパ用使い捨て中敷は、スリッパの足載面を覆う足載面被覆部と、前記足載面被覆部の爪先に折曲可能部を介して連設された爪先被覆部と、前記爪先被覆部に連設された甲被覆部と、前記甲被覆部の開口縁に折曲可能部を介して連設された折返し部から構成されたので、これをスリッパに装着すれば、スリッパの足載面と足の平との間に足載面被覆部が介在されると共に、スリッパの甲部内面と足の爪先及び甲との間に爪先被覆部及び甲被覆部が介在されるため、スリッパの内面と足とが直接触れることを有効に回避できる。したがって、前記請求項１に係るスリッパ用使い捨て中敷をホテルの客室や病院の玄関等施設に用意しておけば、当該施設に備え付けのスリッパを利用する場合でも、各自これをスリッパに装着することができ、他人の足と間接接触することの不快感や黴菌の感染といった衛生上の問題を解消できる。なお、スリッパの利用を終了する際には、スリッパから取り外して廃棄するだけで、簡単にスリッパを元の状態に復帰させることができ、次の人の利用に備えることができる。

【００２３】

また、前記請求項１に係るスリッパ用使い捨て中敷は、前記折返し部をスリッパのキャップ部の外面側に折り返すことにより、スリッパとの結合が強固なものとなるばかりでなく、スリッパを履く際に、誤って爪先がスリッパの甲部内面と甲被覆部の外面との間に入り込んでしまうことを完全に防止できる。しかも、前記折返し部の折り返しによって、歩行中に甲被覆部の巻き込みが生じる虞を回避できる。

【００２４】

請求項２に係るスリッパ用使い捨て中敷は、全体が、継ぎ目無しの構成にされたので、これを例えば、ヒートカット装置、抜き型プレスを以って素材から一体的に切り出して形成することができて製造性、生産性がよく、より安価に提供できる。しかも、継ぎ目がないので所謂足に当たる所がなく歩行に有利である。

【００２５】

請求項３に係るスリッパ用使い捨て中敷は、全体が、吸湿性の高い素材と引裂き強度が強い素材との複合素材により構成されたので、吸湿性がよく丈夫な完成品を安価に提供できる。

【００２６】

請求項４に係るスリッパ用使い捨て中敷は、前記足載面被覆部の後部寄り個所及び折返し部の裏面に、貼って剥がせる弱粘着剤を塗布した接着部分を備えているので、スリッパとの結合をより強固なものにすることができる。またスリッパを脱ぐ際に一緒にスリッパから外れることが防止される。

【００２７】

請求項５に係るスリッパ用使い捨て中敷は、前記甲被覆部と前記折返し部の間に存する折曲可能部に破れ防止用切れ目を入れたので、スリッパの甲部の弧状開口縁に順応した形に馴染み易く、折られた折返し部の両端部分が破れを惹起にくい利点がある。

【００２８】

請求項６に係るスリッパ用使い捨て中敷にあっては、前記甲被覆部の左右両側縁に折曲可能部を介して挟止部が連設されたので、前記挟止部は、前記足載面被覆部の下面と足載部の上面の間に挟み止めて用いことで遊動を阻止できる。

【００２９】

また、前記各請求項１～６に係るスリッパ用使い捨て中敷は、足載面被覆部の表面、折返し部等に所定の文字や図形を印刷し、広告媒体として利用するなどして収益を得ることができ、前記スリッパ事情（２）の達成に好適であり、多大の貢献が期待できる。

【考案を実施するための最良の形態】

【００３０】

図１～図４は、本考案の第１実施の形態に係るスリッパ用使い捨て中敷１を示すものであって、図１は全体を示す展開図であり、図２は使用状態を示す平面図であり、図３は縦方向断面図であり、図４は横方向断面図である。

【００３１】

前記第１実施の形態に係るスリッパ用使い捨て中敷１は、図に示すように、スリッパ２の足載部３上面を覆う足載面被覆部５と、前記足載面被覆部５の爪先に折曲可能部６を介して連設された爪先被覆部７と、前記爪先被覆部７に連設された甲被覆部８と、前記甲被覆部８の開口縁に折曲可能部９を介して連設された折返し部１０とから構成されている。なお、前記足載面被覆部５は、スリッパ２の足載部３を覆い、足載部３と足の平とを隔絶する機能を果し、また前記爪先被覆部７及び甲被覆部８は、スリッパ２の足載部３内に装着され、甲部４に挿入された足の爪先及び甲を覆う機能を果しうるようにされている。

【００３２】

前記第１実施の形態に係るスリッパ用使い捨て中敷１は、吸湿性の高い紙と引裂き強度が強い不織布との複合素材１１を、紙の吸湿性と不織布の強度が互いに補完し合う状態になして用いることによって構成されている。具体的に、前記複合素材１１は、紙は６３ｇ/m^2のものを使用し、不織布は１３ｇ/m^2のものを使用し、一足２枚当りの重量を約５ｇ（内訳：紙４．２ｇ、不織布０．８ｇ）となるようにして構成されたものである。

【００３３】

前記紙と前記不織布は、重ねた状態でヒートカットすることによって裁断（成形）してある。この場合、ヒートカットの時点で、前記紙と前記不織布とは接着されるので、接着剤等を使用しない。なお、接着剤等は適宜使用することができる。

【００３４】

本考案は、前記複合素材１１の代わりに紙、不織布、薄手のフエルト、薄手のスポンジ

、布等の単純素材又は例えば他の複合素材を用いることができる。また、特殊な抗菌加工や消臭加工等を施した単純素材又は複合素材を用いてもよい。

【００３５】

また、図５及び図６は、本考案の第２実施の形態に係るスリッパ用使い捨て中敷１３を示すものであって、図５は全体を示す展開図であり、図６は使用状態を示す縦方向断面図である。

【００３６】

前記第２実施の形態に係るスリッパ用使い捨て中敷１３は、前記第１実施の形態に係るスリッパ用使い捨て中敷１の構成を基本的に採用したものであって、異なるところは、足載面被覆部５の後部寄り個所の裏面、爪先寄り個所の裏面及び折返し部１０の裏面に、貼って剥がせる弱粘着タイプの糊を塗布した接着部分１４を設けたことである。前記接着部分１４は、接着用として及びズレ防止用として機能する。

【００３７】

本考案は、弱粘着剤として用いた前記糊の代わりに可塑性物質をコーティングして接着機能及びズレ防止機能を果すようにすることができる。なお、その粘着力があまり強すぎると、次の利用者のためにスリッパから取り外す際に痕跡が残る可能性があるため、適当な粘着力を備えた弱粘着剤を選択する必要がある。また、前記弱粘着剤は、例えば、予め前記足載面被覆部の裏面及び折返し部の裏面に所定の形状・大きさで塗布しておくと共にその表面をプラスチックフィルム等離型シートで覆っておき、スリッパに装着する際に当該離型シートを剥がして使用しうるようにすることができる。なお、前記糊等弱粘着剤の塗布を広い範囲するか狭い範囲にするか場所を何処にするか等は、試作を繰り返して、その最良の状態を任意に選択することが望ましい。

【００３８】

また、図７及び図８は、本考案の第３実施の形態に係るスリッパ用使い捨て中敷１６を示すものであって、図７は全体を示す展開図であり、図８は使用状態を示す平面図である。

【００３９】

前記第３実施の形態に係るスリッパ用使い捨て中敷１６は、前記第２実施の形態に係るスリッパ用使い捨て中敷１３の構成を基本的に採用しているものであって、前記甲被覆部８と前記折返し部１０の間に存する折曲可能部９に複数本の破れ防止用切れ目１７を入れた点が異なるものである。前記破れ防止用切れ目１７は、折曲可能部９の折れ線に交差する向きにする。その本数は１本以上であればよい。

【００４０】

また、図９及び図１０は、本考案の第４実施の形態に係るスリッパ用使い捨て中敷１９を示すものであって、図９は全体を示す展開であり、図１０は使用状態を示す横方向断面図である。

【００４１】

前記第４実施の形態に係るスリッパ用使い捨て中敷１９は、前記第２実施の形態に係るスリッパ用使い捨て中敷１３の構成を基本的に採用しているものであって、前記甲被覆部７の左右両側縁に折曲可能部２０，２１を介して挟止部２２，２３が連設されたものである。前記挟止部２２，２３は、前記足載面被覆部５の下面と足載部の上面の間に挟み止めて用いる。この下面への止め方は、図１０に示すように、挟止部２２，２３を足載面被覆部５の下面に潜らせ入れて止めるようにしてある。勿論、前記挟止部２２、２３には前記弱粘着剤を塗布しておいて使用するときに貼り止めるようにしても実施できる。

【００４２】

また、図１１及び図１２は、本考案の第５実施の形態に係るスリッパ用使い捨て中敷２５を示すものであって、図１１は全体を示す一部切截展開図であり、図１２は拡大縦方向断面図である。

【００４３】

前記第５実施の形態に係るスリッパ用使い捨て中敷２５は、前記第１実施の形態に係る

スリッパ用使い捨て中敷１の構成を基本的に採用して左・右足用中敷本体２６、２７を構成し、これら左・右足用中敷本体２６、２７の裏面全面に弱粘着剤２８，２９を施してあるものであって、包装状態時、不使用状態時には左右足用のものを裏合わせの状態にしておけるようにしたものである。なお、前記弱粘着剤の塗布範囲を一部分としてもよい。

【００４４】

なお、前記各実施の形態に係るスリッパ用使い捨て中敷は、その折曲可能部６、９、２０，２１に折り曲げ用案内線を設けていないが、厚手の素材、硬めの素材を以って前記中敷を構成する場合には、前記折り曲げ用案内線を各折曲可能部６、９、２２，２３に適宜に設けることができる。

【図面の簡単な説明】

【００４５】

【図１】第１実施の形態を示す全体の展開図である。

【図２】使用状態を示す平面図である。

【図３】縦方向断面図である。

【図４】横方向断面図である。

【図５】第２実施の形態を示す全体の展開図である。

【図６】使用状態を示す縦断面図である。

【図７】第３実施の形態を示す全体の展開図である。

【図８】使用状態を示す平面図である。

【図９】第４実施の形態を示す全体の展開図である。

【図１０】使用状態を示す横断面図である。

【図１１】第５実施の形態を示す全体の展開図である。

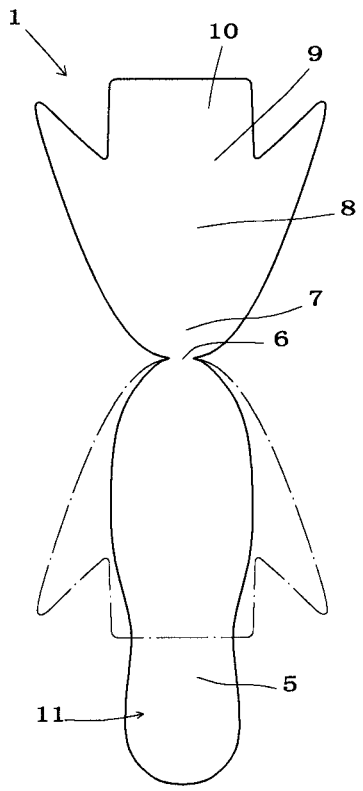
【図１２】拡大縦方向断面図である。

【符号の説明】

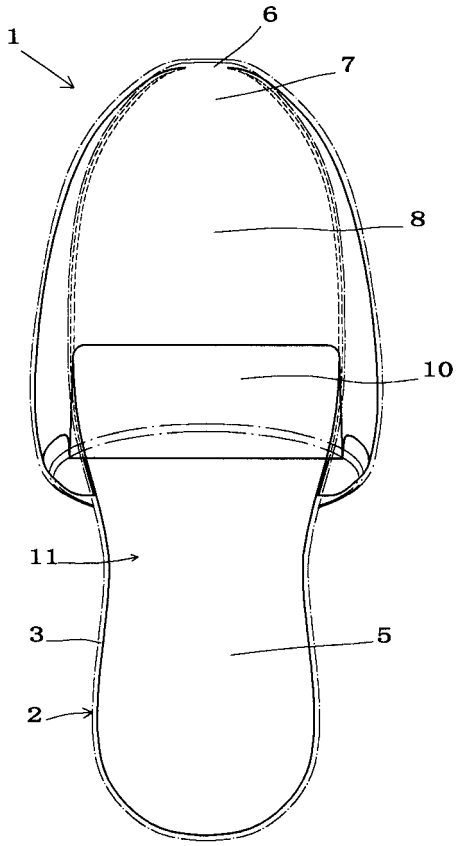
【００４６】

１　第１実施の形態に係るスリッパ用使い捨て中敷
２　スリッパ
３　足載部
４　甲部
５　足載面被覆部
６　折曲可能部
７　爪先被覆部
８　甲被覆部
９　折曲可能部
１０　折返し部
１１　複合素材
１３　第２実施の形態に係るスリッパ用使い捨て中敷
１４　接着部分
１６　第３実施の形態に係るスリッパ用使い捨て中敷
１７　破れ防止用切れ目
１９　第４実施の形態に係るスリッパ用使い捨て中敷
２０　折曲可能部
２１　折曲可能部
２２　挟止部
２３　挟止部
２５　第５実施の形態に係るスリッパ用使い捨て中敷
２６　左右足用中敷本体
２７　左右足用中敷本体
２８　弱粘着剤
２９　弱粘着剤

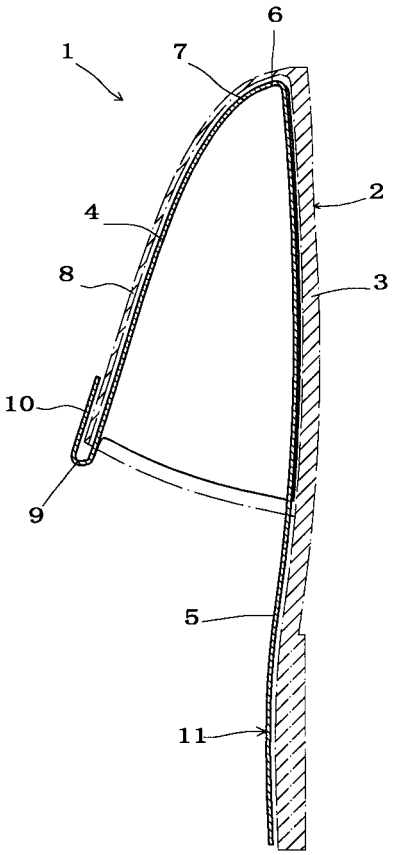
【図１】



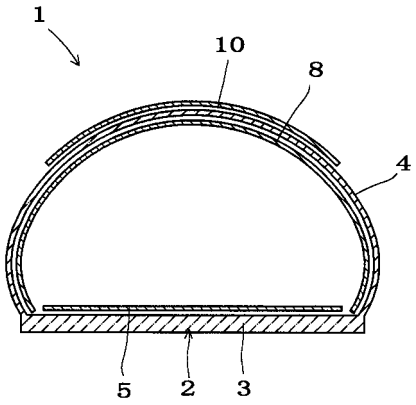
【図２】



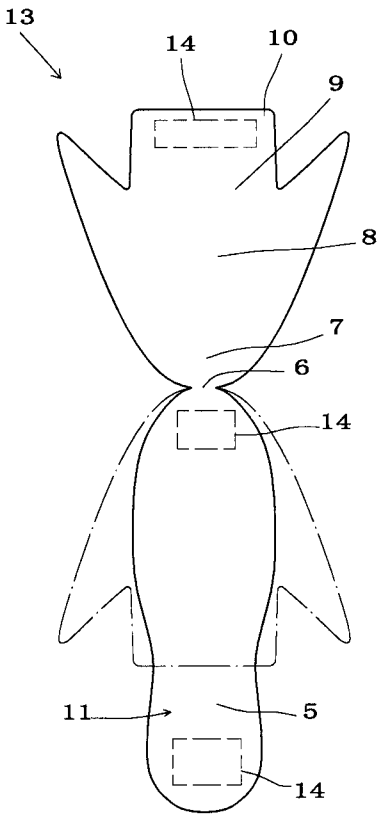
【図３】



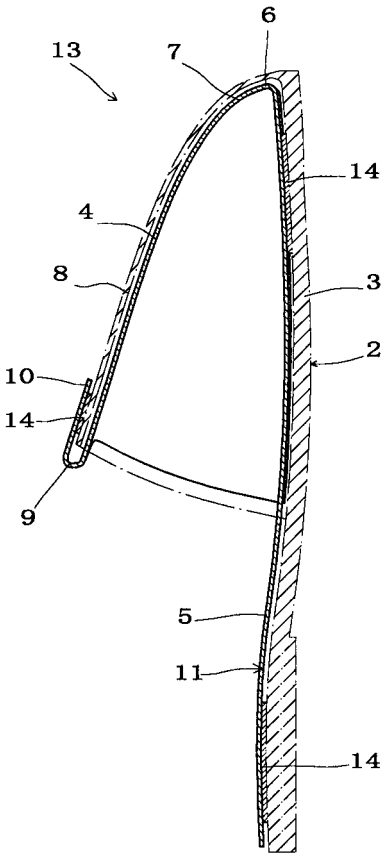
【図４】



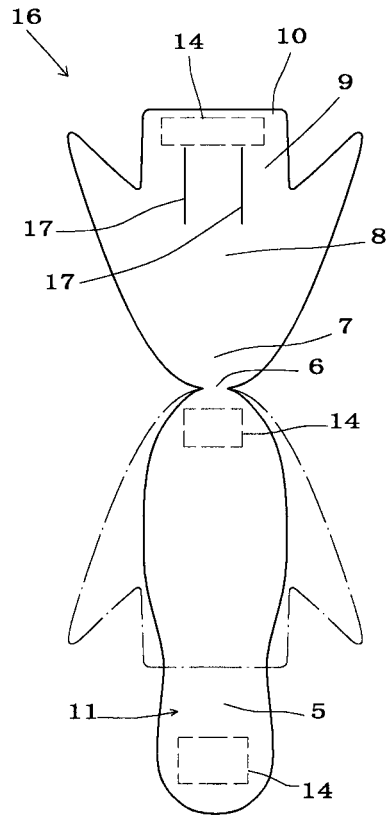
【図５】


13
14
10
9
8
7
6
14
11
5
14

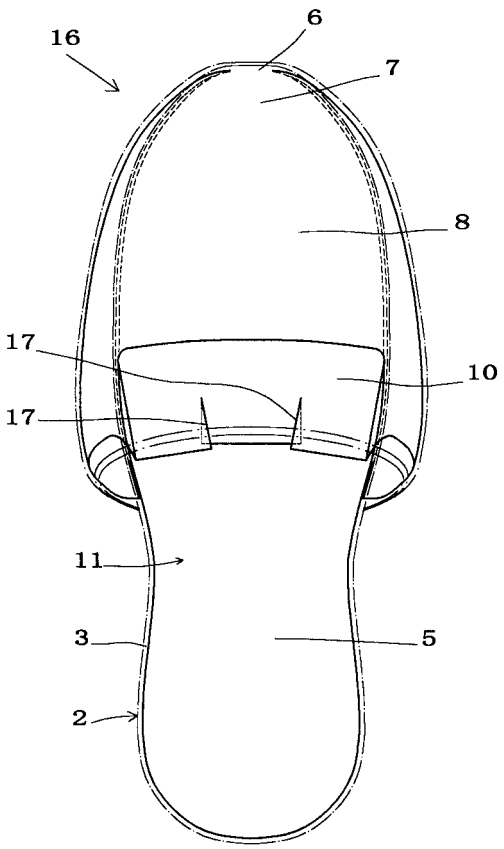
【図６】


6
13
7
14
4
8
3
2
10
14
9
5
11
14

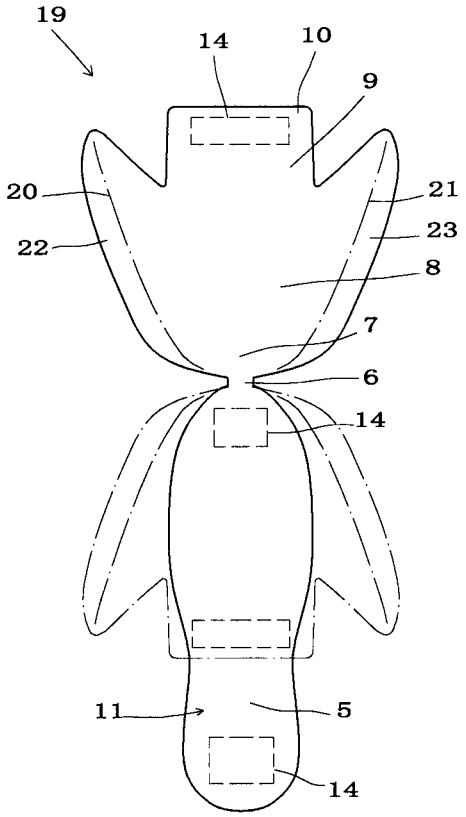
【図７】


16
14
10
9
17
8
17
7
6
14
11
5
14

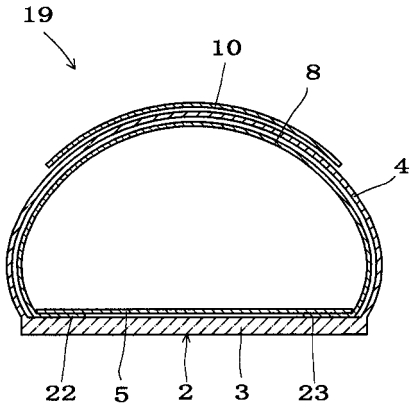
【図８】


16
6
7
8
17
10
17
11
3
5
2

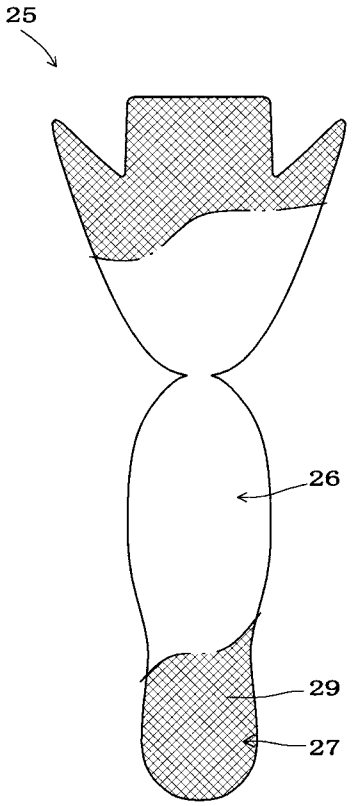
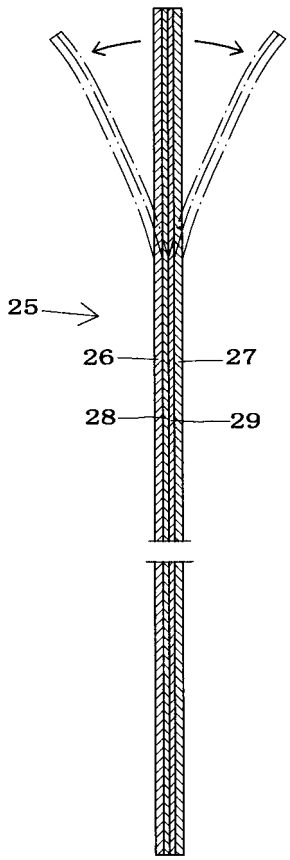
【図９】



【図１０】



【図１１】



【図１２】